

2026年2月22日(日)

日本基督教団 大宮教会

大宮教会ビジョン

「すべての人を喜びあふれる神の家族へ」
- 聖書の御言葉に生きる共同体を造り上げる -
(マタイによる福音書 28 : 19~20)

受難節第1主日

朝第1礼拝 9:00~10:00

朝第2礼拝 10:30~11:45

<神の招き>

前奏 ① ああ主よ、罪人われを パッヘルベル
② 心より慕いまつる ブラームス

招きの詞 詩編47:2~7

交読詩編 91:1~13

讃美歌 50

<神の言葉>

聖書 詩編100:1~5
(旧約 聖書協会共同訳 920頁)
エフェソの信徒への手紙4:1~7
(新約 聖書協会共同訳 348頁)

祈 禱

讃美歌 310

説教 「招きにふさわしく歩む」
佐藤潤伝道師

祈 禱

黙 想

讃美歌 454

<神への応答>

使徒信条

献 金

主の祈り

宣教報告②

頌 栄 26

派遣と祝福

後 奏 ① おお、汚れなき神の小羊 パッヘルベル
② 心より慕いまつる マックスレーガー

宣教報告①

サテライトチャーチ植竹礼拝 10:30~11:30

夕 礼 拝 18:00~19:00

<神の招き>

前 奏 おお、汚れなき神の小羊 パッハ

招きの詞 詩編47:2~7

交読詩編 91:1~13

讃美歌 10

<神の言葉>

聖書 創世記15:1~7
(旧約 聖書協会共同訳 18頁)
ヨハネによる福音書8:31~47
(新約 聖書協会共同訳 178頁)

祈 禱

讃美歌 51

説教 「真理はあなたがたを自由にする」
熊江秀一牧師

祈 禱

黙 想

讃美歌 394

<神への応答>

使徒信条

献 金

主の祈り

宣教報告

頌 栄 29

派遣と祝福

後 奏 おお、汚れなき神の小羊 パッヘルベル

ワーシップ(賛美礼拝) 14:00~15:00

説教「天に宝を積もう」熊江秀一牧師

マタイによる福音書6:19~24

賛美:今こそキリストの愛に応えて、ここから、
ワン・ボイス、慕い求めます、誰かが祈ってる、
主の祈り、愛するイエスと、やさしいイエス様

次週の礼拝(3月1日) 聖餐式

① 9:00、② 10:30

説教「大祭司イエスによる救い」熊江秀一牧師

レビ記16:2~10、

ヘブライ人への手紙2:14~18

交読詩編18:1~7

讃美歌9、57(奉唱294)、291、78、29

☒ 18:00

説教「敵を愛しなさい」佐藤潤伝道師

箴言25:21~22、

ルカによる福音書6:27~36

交読詩編18:1~7

讃美歌17、298、492、78、25

■**今週の祈禱課題**■ 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。

1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に
2. 東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に
3. レント（受難節）の歩みの為に
4. 長老会の為に
5. 教会学校の為に
6. イスラエルとパレスチナ、ウクライナ、世界の平和の為に
7. 病気の兄妹の為に

***関東教区お祈りカレンダー** 加須教会 白岡菖蒲教会 和戸教会

◇先週の説教より「離れないでください」詩篇22篇、マルコ福音書15：33～34 清水義尋牧師(岩槻教会)

詩篇22篇は嘆きから賛美へと移行する歌だ。その前半には、沈黙する神に呼びかけ続ける悲痛な叫びがある。

詩人に襲いかかる苦痛が具体的に何であるかは明かされていない。けれども、詩人が求めているのは具体的な苦しみ除去ではない。むしろ、彼が訴えるのは「わたしから離れないでください」という嘆願だ。ここに、命の危機に晒されてもなお、主なる神との関係を求める信仰者の姿がある。

詩人は沈黙する主に対して「なぜわたしを見捨てたのか」と問いかける。この背景には、イスラエルの歴史のなかで受け継がれた救いの記憶がある。したがって、嘆きは不信仰ではなく、受け継がれた信仰ゆえの叫びである。「わたしの神、わたしの神」と繰り返す言葉に、主以外に拠り所を持たない信仰者の姿がある。この切実な呼びかけに、主なる神は応えられる。

その転機は22節から読み取れる。『救ってください/獅子の口から、野牛の角から。すると、あなたは私に答えてくださった。』

主なる神は、確かに詩人の嘆きを聞いておられた。だからこそ詩人は、それまで嘆いていた口で高らかに主を賛美する。

ここに、わたしたちに不可欠な救いが示されている。たとえ沈黙しておられたとしても、主がわたしたちを見捨てることはない。だからわたしたちは嘆き、賛美することができる。

では、主なる神との関係は何によって保たれているのか。その答えは十字架にある。

マルコ福音書15章のキリストの叫びは、22篇の詩人の叫びと重なる。主イエスは、十字架上で父なる神に見捨てられることによって、わたしたちの罪を贖われた。神の子がわたしたちの代わりに見捨てられたからこそ、わたしたちが見捨てられることは決してない。

主イエス・キリストによって、わたしたちは父なる神に結ばれている。わたしたちは、そのことをこころに刻んで歩んでいきたい。

*礼拝中、起立が無理な方は、着席のままどうぞ。*は祈禱当番の方。*①は朝第1礼拝、②は朝第2礼拝、夕は夕礼拝。